



大和市立引地台中学校

令和6年3月25日発行

# 学校だより

TEL 046-267-0535

学校ホームページ <http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/c-hiki/index.htm>

4月号



## であ わか ねんどまつ 出会いと別れの年度末

こうちょう しまぬき みのる  
校長 島貴 稔

今号では、この3月で引地台中学校を去る先生方からのメッセージを掲載します。

### <K先生>

2015年に着任し、9年間お世話になりました。

改めて人との繋がり大切さを感じる9年間でした。

私と引地台中学校は、出身中学で何かと縁がある学校です。中学生の3年間も、ここでたくさんのごことを学び、たくさんの友人や、先生方、地域の方にお世話になりました。そして、現在の引地台中学校は、校舎もきれいになりましたが、当時と変わらず、エネルギーに満ち溢れ、多くのことを学ぶことができました。

また、中学生時代に広がった人間関係が、何年たっても繋がりがあり、応援していただく場面が多く、大変感謝しております。また、新しい出会いもあり、たくさんの繋がりを広げることができ、とても充実した日々を過ごすことができました。

4月から、他の学校に移動しますが、ここでの繋がりを忘れず、そしてさらに広げていけるように頑張りたいと思います。

生徒のみなさん、保護者のみなさま、地域のみなさま、ありがとうございました。

### <K先生>

2015年の4月から、引地台中学校に赴任しました。そこから9年間引地台中学校で、子ども達や共に働いた先生方から多くを学び、成長することができました。物理的にも成長しました(笑) また結婚し父親にもなりました。

父親になったことで、中学校の保護者の方の気持ちがより分かるようになりました。「ただそこにいてくれるだけで嬉しい」「でも、できることが増えてきたから、いろんなことを期待する気持ち」など、まだ私の娘は3歳と幼いですが、いろいろと期待してしまいます。自分よりもはるかに大切な存在(妻も)です。

私たち教員はお預かりしたお子さんに寄り添い、ほめたり、叱ったり、成長を感じられる最高の職業です。緑学年の卒業に伴い、クラスで学活の際に話をしたときに3年間の成長を感じ涙が流れました。

しかし、その5倍保護者の方はお子さんをほめたり、叱ったりしていることを改めて感動しました。保護者の方はすごい。私も親としての覚悟を持ち、また教員としても預かったお子さんがよりよく伸びていけるように、勉強や努力を欠かさず精進していきたいです。引地台中の地域の方、子ども達、保護者の方に育てていただきました。

少しでもこのご恩を返せるように、またいつの日か引地台中に戻ってきたいです。



## <O先生>

私は7年前にこの引地台中学校に着任しました。年季の入った校舎に元気溢れる生徒たち、活気ある部活動。当時、私の目に映る引地台中学校はエネルギーに満ちた大きなマンモスのようでした。そんな大きな存在（イメージ）に飛び込みがむしやりに過ごした日々の中でも、毎日生徒たちと笑い合い、ときに悲しみや悔しさを共有しながらの生活は私に引地台中学校で働いていく決意をもたらしてくれたと思っています。

新型コロナウイルスや校舎・グラウンド大規模改修工事で学校生活に多くの制限がつくようになってからは、「生徒たちは学校に何をしに来るのか」「どうすればまた明日も行こうと思える学校になるか」を考えるようになりました。そして最後の3年間、学校として教師として、大切な生徒たちとどう関わっていくべきなのか試行錯誤をしてきました。正直、大変なことや投げだしたくなるようなこともありました。それでも今日まで頑張ってきたのは引地台中学校の生徒や先生方の暖かい関わりがあったからだと感じています。生徒の皆さんは引地台中学校が好きですか？私はこの引地台中学校が大好きです。活気・魅力・可能性が溢れる素敵な引地台中学校で過ごせたことを心から嬉しく思います。今まで本当にありがとうございました！Vamos!!!HIKIJIDA!!!

## <S先生>

引地台中学校に着任した日は、新しい元号が、当時の菅官房長官から発表され、「令和」と書かれた文字がテレビで中継されていました。その日からあっという間に5年が過ぎていきました。

引地台中学校での5年間の日々は青学年のみなさんとともに過ごしてきましたが、本当にいろいろなことがありました。コロナウイルス感染症が蔓延して卒業式が延期になったり、新しい青学年のみんなと出会えたと思ったら次の日から2か月にわたる臨時休校があったりしました。臨時休校が終わってもなかなか元の日常に戻ることはできず、「密にならないように」「ソーシャルディスタンスをとりなさい」なんてことをよく話していたような気がします。少し落ち着いてきたら校舎の改修が始まり、旧校舎からプレハブ校舎への引っ越し、プレハブ校舎から新校舎への引っ越しと慌ただしく日々過ぎ去っていきました。気がつけば5年の月日が経ちました。

5年間を過ごしてきて、今、感じるのは、引地台中学校のみなさんは明るくて元気があってとってもエネルギーがあふれている人が多いということです。自分たちの良いところを伸ばしてこれからもみんなが楽しいと思えるような引地台中学校にしていってほしいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様、本当にお世話になりました。いろいろご迷惑をおかけしたと思いますが、いろいろな場面で支えて頂いて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。引地台中学校で学んだことを生かして、これからも頑張っていきます。

## <O先生>

南林間中で定年退職を迎え、その後再任用での3年間をお世話になりました。私は1993年から9年間、引中に勤務いたしました。19年ぶりに復帰した懐かしい学び舎では、保護者になられたかつてのたくさんのお教え子たちと再会することができました。また人懐っこいかわいい生徒たちと出会ったことも、もちろん何よりの幸せでした。

昨年大病を患い、生徒のみなさんや先生方にはたいへんなご迷惑をおかけしてしまいました。おかげさまで順調に回復し、体力もかなり戻ってきました。このまま引中での勤務を続けたいと思っておりましたが、諸事情により他校へ異動することとなりました。

明るくたくましい引中の伝統を引き継ぎながら、新しいことにも積極的に挑戦し、より一層素晴らしい学校をつくりあげてください。それではみなさん、お元気で。

## <A先生>

生徒の皆さん、保護者の皆様、今まで大変お世話になりました。三年間という短い間でしたが、引地台中学校にはたくさんの思い出が詰まっています。

私は、みつわ級の担任として三年間勤めさせていただきましたが、その中で皆さんのたくさんの優しさに触れました。

みつわ級の生徒に対して、先生の説明を分かりやすい言葉で言い換えようと一生懸命考えてくれた子、発表が苦手な子に対して色々な発表方法を伝えて選択させてくれた子、教室に入るとハイタッチで迎えてくれた子。

中学生は心も体も大人に近づく時期です。自分と違うものを拒んだり、少数の意見を認められなかったりしてしまうものです。そんな時期を生きている皆さんですが、様々な個性を持つみつわ級の生徒に対して、それぞれ工夫をしながら関わろうとしている姿をたくさん見せてくれました。

自分と違う個性に出会ったとき、戸惑うことがあるかもしれませんが、それでも、互いの良さを認め合うことは、これからの人生においてもとても大切なことです。これからもお互いに認め合いながら、安心して楽しく過ごせる学校をつくっていきましょう。今まで本当にありがとうございました。

## <先生>

あと1年、せめてあと1年と強く願っていましたがその願いは届かず、引地台中学校での3年間の勤務を終え、異動することになりました。

生徒の皆さん、直接関わりがあるという人は少なかつたかもしれませんが、毎日すれ違ったときに元気に挨拶をしてくれたこと、何より好きなものへの熱意がすごく皆さんに元気をもらっていたとともに本当に応援したくなる方たちでした。これから一緒に過ごすことができなくなることはとても寂しいですが、別れの分、新しい出会いが待っているの、新しい出会いを楽しみにして今まで以上に幸せな生活を送ってほしいなと思えます。

保護者や地域の皆様には大変お世話になり、どんな場面でも協力していただいたこと大変ありがたく、ここに厚く御礼申し上げます。

幸せな学校生活を本当にありがとうございました。

## <K先生>

引地台中学校では、みつわ級の担任として2年間お世話になり、みつわ級のまとめ役のような役割をやらせていただきました。初めての学校で初めての役割で・・・不安いっぱい引地台中学校での生活がスタートしたことをよく覚えています。ですが、いざ学校が始まってみると、たくさんの生徒が名前も知らない私に元気に挨拶してくれ、嬉しく思い不安が徐々になくなってきました。そんなスタートだった引地台中学校での生活もあっという間に2年間が過ぎ、振り返ってみると良き仲間と共にかわいい生徒たちと学校生活を共に過ごせたことがとても嬉しく感じています。そして何より毎日連絡帳でやり取りをくださった、みつわ級の保護者の方々には毎日励まされ、ご協力をいただいたことに心から感謝いたします。私一人では絶対にここまで乗り越えてこれなかったと思います。たくさん周りの方々に助けていただいたおかげで2年間無事に学校での生活が送れたことを心から感謝しています。短い間でしたがありがとうございました。

## <Y先生>

中学生の皆さんへ

もしも悪魔が現れて、「お前を中学生まで若返らせてやる。その代わりに、貧乏な家庭で、嫌いな友人、逃げたくなる親に囲まれる日々からスタートだ。どうするか？」と私に囁いたら私はどうするとおもいますか？

もちろん私は歓喜して「YES」と叫ぶ。

私の中学生時代の思い出は、全く楽しいものではなく、むしろ暗鬱そのものでした。

当時、談笑している中学生を見て「いったい何がそんなに楽しいのか、こんな日常のどこに笑えるようなことがあるのか」といつも思っていました。体も小さく、勉強も苦手、気も弱かった自分にとって、コメディ学園ドラマのような陽気な世界は完全に無縁であったし、もう1度生き直したとしても結果は同じでしょう。

それでも私が中学生に戻れたら歓喜するのは、たとえ今の自分がテイラー・スウィフト並みのセレブであったとしても、絶対に見られない感銘や達成感が、中学生の年齢であればえられるからです。パールバックの『大地』やディケンズの『二都物語』やエラリー・クイーン『Xの悲劇』を夢中になって読んだり、本気で漫画家を目指して今となっては赤面しかもたらさない漫画を描いたりするのは当時の14歳の年齢でしか考えられません。

もちろん、怒り、悔しさ、悲しみといった負の感情も鮮烈で、今でも当時の嫌な思い出が強烈にフラッシュバックすることがあります。

しかし、それらすべてを含めて、お金に代えられないものなのです。

そして・・・当時はまるで命にかかわる重大事のように思えた悩みも、今思えばもっとたやすく乗り越えられたはず、そう思えることもあるのです。

皆さんが今味わっているつらさも喜びも、皆さんの年齢の特権なのです。

どうか良き学生生活を。

最後に、皆さんにお勧めの本を。ぜひ読んでみてください。

遠藤周作『イエスの生涯』 谷崎潤一郎『春琴抄』 エラリー・クイーン『Yの悲劇』

トルストイ『光あるうちに光の中を歩め』 ドストエフスキー『カラマーゾフの兄弟』

トーマス・モア『ユートピア』 大江健三郎『万延元年のフットボール』 大塚久雄『共同体の基礎理論』

## <O先生>

短い時間ではありますが、大変お世話になりました。

私からみなさんにお伝えしたいことは3つです。

1つ目は諦めずに取り組み続けることを頑張ってほしいです。

数学は真体的なイメージが難しく、苦手な人も多いかと思いますが、できないことは恥ずかしいことではありません。最初はできなくて当たり前です。先生や友達などに助けてもらい、諦めずに努力し続けてほしいです。

2つ目は困ったときは周りに人に相談したり、甘えましょう。

一人で頑張ることは大事です。しかし、時には誰かに頼ったり、甘えてもいいと思います。あなたは決して一人ではなく、周りには、思ってくれる人たちがたくさんいます。そのことを忘れないでください。

3つ目は様々なことに挑戦してほしいです。挑戦には勇気がいるりますが、成長するチャンスでもあります。私自身も大人になってからも新たに挑戦し、成長することができています。

長くなりましたが、今までありがとうございました。

## <先生>

四月にこちらの学校に来たとき、私は引地台中学校という名前も、どこにあるのかということも初めて知りました。大和市に住んでいながら、大和の学校のことをほとんど知らなかったのです。

始めのうちは戸惑うことばかりでした。ずっと違う地域で教員をやっていたためか、いろいろなことが目新しく、まさに新入生のような気分でした。初めての生徒や初めてのデジタル教科書など「初めて」尽くしで、ずいぶん緊張して授業に臨んだことを覚えています。毎日冷や汗ばかりをかいていました。一日一日が刺激にあふれていて、授業が終わると何だか妙に疲れました。そんな私を助けてくださったのが、先生方と生徒たちです。先生方は私のことを温かく支えてくださいましたし、生徒たちはその明るさで力をくれました。おかげで何とか一年間を終えることができました。

今皆さんに別れを告げるのはとても寂しいですが、皆さんの明るい未来を願うとともに私自身の新しい一歩に希望を持ちたいと思います。ありがとうございました。

### <S先生>

今年度いっぱいでのこの学校を去ることになりました。短い期間でしたがみなさんとお会いできたことをうれしく思っています。

わたしは去年の4月に、3年ぶりに長崎から神奈川に戻ってきました。改めて神奈川に住んでみたら、人が多いことを実感しました。朝の電車の込み具合は、長崎の何倍でしょうか。皆さんにしてみたら、神奈川の人の多さになど改めて驚くことはないでしょう。このように違いを感じるのは、別の場所に住んだ体験があるからこそです。数えてみたら、わたしは海外も含めて今まで7回も引越しをしていました。それぞれの土地に面白さがあり、違いがありました。

今はどんな場所でもすぐに写真や動画を見ることが出来ます。でもその場に行き体験しなければわからないことがたくさんあることを実感しています。皆さんも、心ひかれる場所があったらぜひ実際に足を運んでみてください。そしてこれから皆さんがたくさん場所と出会うことができますように！

### <U先生>

私は11年間、引地台中学校でお世話になりました。特別支援級のヘルパーになって初めての配属校で、自分に出来るのか学校に行くまでは不安な気持ちでいっぱいでした。でも、いざ学校に行ってみると生徒のみんなも先生方も明るく、優しい人ばかりで不安も徐々になくなり楽しくてあっという間の11年間でした。何でも新しいことを始める時は不安になるけど、勇気を出して一歩踏み出せば新しい自分を見つける事が出来ると思います。チャレンジする事を大切に、これからの学校生活がみなさんにとって実り多きものになるように陰ながら応援しています。そして、みつわ級のみんなへ…朝、教室に入ると笑顔で「おはよう」と言ってくれるだけで元気がもらえました。みんなのお陰で学校に行くのが楽しかったです。仲良くしてくれてありがとうございます。みんならしく今しかない中学校生活をいっぱい楽しんでください。最後に皆様お世話になりありがとうございました。

### <H先生>

大学を卒業してから引地台中学校に着任し、8年間お世話になりました。その後は出産・子育てのため3年間のお休みに入っていたので、在校生の皆さんと直接関わることはできませんでしたが、勤務していた間は家庭科の授業を通して多くの生徒たちと出会うことができました。

私は人前で話すことが得意ではないし、人を引っ張るリーダータイプでもありません。そんな私が教員になったのは、人と関わることが好きだったのと、人の成長に触れることに喜びを感じるからです。エネルギーあふれる引地台中学校の生徒たちの成長を何度も目の当たりにして、大きな感動をたくさん与えてもらいました。

引地台中学校に在籍する長い時間の中で、大きなライフイベントをいくつも経験させてもらい、今では2人の子を育てる母親になりました。ここでの経験を生かし、更にレベルアップした教員となって、これから出会う生徒たちの力となれるよう頑張ります。保護者の皆様、地域の皆様、そして出会ってくださった皆さんの生徒の皆さん、長い間お世話になりました。ありがとうございました。



お世話になりました





# 3月の活動

## 1年生デイキャンプ

3月15日（金）に、1年生は泉の森ヘデイキャンプに行ってきました。来年度実施予定のキャンプに向けて、野外調理の練習やレクを行いました。実行委員を中心に考えたレクでは、どの生徒も全力で楽しみました。来年度のキャンプがより一層楽しみになったデイキャンプでした。

## 2年生球技大会

3月15日（金）に、2年生は球技大会を行いました。生徒たちは3種目に分かれ、好天にも恵まれ、みんな全力でゲームを楽しみました。



## 3年生卒業証書授与式

3月12日（火）に、第48回卒業証書授与式が行われました。卒業証書授与はもちろんのこと、卒業生合唱や校歌斉唱でも立派な姿を見せてくれました。この先も自分らしさを忘れずに、それぞれの道で活躍してほしいと思います。



## 4月の主な予定

8日（月）	着任式、始業式、入学式	12日（金）	分教室入学セレモニー
9日（火）	対面式	ねんせいじゅぎょうさんかん ほごしゃかい	2年生授業参観・保護者会
10日（水）	給食開始、生徒会・部活動オリエンテーション	ねんせいじゅぎょうさんかん ほごしゃかい	1年生授業参観・保護者会
11日（木）	3年生授業参観・保護者会	15日（月）	みつわ級授業参観・保護者会
		16日（火）	きゅうじゅぎょうさんかん ほごしゃかい
		18日（木）	ぜんこくがくりよくじょうきょうちょうさ ねんせい
		23日（火）	~5月1日（水） 教育相談

## 給食費の引き落としについて

今年度も集金にご協力いただきありがとうございました。来年度につきましては、新年度、改めてお知らせいたします。